

令和元年度の各専門部会の取組み事項

農産物等研究専門部会

- 農-1 大学と連携した意見交換会、講座の開催
- 農-2 栽培技術の向上に向けた取組みの検討・実施
- 農-3 地域イベント等を通じた黒川産農産物の知名度の向上
- 農-4 収穫祭等における黒川産農産物のPR

農-1 大学と連携した意見交換会、講座の開催

■ 計画概要

概要・目的		概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地元農業者を対象に、明治大学農学部教授等との意見交換会を実施し、大学の教職員に施設や大学の取組み、研究内容等について紹介を行う。 ・大学と地元農業者の相互の取組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげる。
		目的 <p>【地域交流】明治大学黒川農場での取組み等を紹介してもらった意見交換会を実施し、地元農業者と大学関係者の交流を深める。</p> <p>【地域連携の強化】黒川産の農産物の販売促進のため、地元農業者と大学が新規農産物や郷土農産物の栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。</p>
実施体制、対象者等		対象：地元農業者、明治大学 担当：川崎市農地課
検討内容	実施日	
	実施場所	
	周知・PR	—
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ①明治大学黒川農場の施設紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・黒川農場の施設を紹介。 ②研究活動内容や研究成果の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・黒川農場で行っている研究や取り組みの紹介 ③明治大学教員と地元農業者による意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の、農産物等の生産に関する連携等について
	予算等	—
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も大学と農家の意見交換の場を検討していく。

農-2 栽培技術の向上に向けた取組みの検討・実施

■ 計画概要

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等と連携し、農産物の栽培方法等に関する勉強会や研修会を開催し、黒川における栽培技術の向上を図る。 <p>目的</p> <p>【地域交流】 明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【地域連携の強化】 地元農業者と大学が農産物の新たな栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。</p>
実施体制、対象者等		<p>対象：地元農業者、明治大学</p> <p>担当：川崎市農地課</p>
実施内容	実施日	令和元年 10 月 4 日
	実施場所	<p>実施：黒川地区全域</p> <p>意見交換：黒川公会堂</p>
	周知・PR	黒川生産支部回覧板
	内容	<p>①栽培講習会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスパラガスの栽培講習・黒川地域における微気象変化による農作物の影響に関する研究成果の報告会を実施
	予算等	—
その他		—

■実施結果

実施概要	実施日時	機材の設置：通年 研修会の実施：令和元年 10 月 4 日
	実施場所	研究：黒川地域 研修会：黒川公会堂
	参加者数	地元農業者、明治大学、県、JA、パイオニアエコサイエンス 25 人
実施状況 (写真等)	<p>〔明大農学部 元木悟准教授・矢崎専任講師、川崎市都市農業振興センター職員対応〕</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスパラガス「採りっきり栽培」の現状（元木准教授） ・2019 年春のアスパラガスの収量調査毛か（明治大学 小澤さん） ・ドイツ及びオランダにおけるアスパラガス生産の現状と展望 （明治大学 加藤さん） ・タイにおけるアスパラガス生産の現状と展望（明治大学 田口さん） ・2018～2019 年のシーズンを振り返る （パイオニアエコサイエンス 川崎さん） ・黒川地域における微気象の研究（矢崎専任講師） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトアスパラガスについて、なぜ好まれるのか。収量はどれくらいあるのか。 →伝統的に栽培されている。ウドより甘みが強く苦みが少ない。収量は 1 反当たり 1 トン程度。遮光して栽培されたものは柔らかく、覆土して作られたものは固い。 ・アスパラガスの品評会は面白いと思った。 ・微気象について、黒川でも違いがあり興味深い。もっと話を聞きたい。 	
評価と今後の進め方等 (専門部会での検討事項)	微気象をメインテーマとした講習会の実施を検討していく。	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域意見交換会にて微気象の気候データや研究成果を部会以外の農家にも共有してほしいとの意見があった。 	

農-3 地域イベント等を通じた黒川産農産物の知名度の向上

■ 計画概要

概要・目的		概要 ・地域活性化検討専門部会と連携し、黒川の農産物を身近に親しんでもらえるよう、地域イベントや大学連携による知名度の向上を図る。
		目的 【黒川農産物のPR】黒川地域の活性化に向けて、収穫イベントと連携しながら黒川産の新鮮な農産物をPRし、販売促進につなげる。 【来街機会の創出】黒川の農産物のPRをもとに、地域の魅力や自然環境等を発信し、頼街機会の創出を図る。
実施体制、対象者等		対象：地元農業者、明治大学 担当：川崎市農地課
実施内容	実施予定日	地域活性化検討専門部会と連携した農作物の周知 ：7月27日、12月14日
	実施場所	黒川地域、明治大学黒川農場
	周知・PR	①各種イベントでのチラシ等の配布
	内容	①各種イベントでのチラシ等の配布 ②担当職員による農作物の紹介・解説
	予算等	-
その他		

■実施結果

実施概要	実施日時	令和元年 7 月 27 日、12 月 14 日
	実施場所	黒川地域、明治大学黒川農場
	参加者数	7 月 27 日：18 組 36 名 12 月 14 日：15 組 30 名
実施状況 (写真等)	<p>地域活性化検討専門部会の実施する〈グリーンツーリズム〉と連携</p> <p>○7月27日</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市管理する展示ほ場にて、ブルーベリーの収穫体験を実施 ・市職員から、農業振興地域、黒川地区の概要を説明 ・その後、収穫体験を実施 <p>○12月14日</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区ほ場にて、大根の収穫体験を実施 ・栽培管理をしている地元農業者から、栽培状況、地域について説明がある。 ・市職員から、農業振興地域、黒川地区の概要を説明 ・その後収穫体験を実施 	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市でブルーベリーの収穫ができることに驚いた。 ・川崎市で収穫体験をもっとしたい。 ・イラガに刺されて痛かった。 ・大根が3か月で2kgにもなることに驚いた。 ・農家さんから話が聞けて良かった。 	
評価と今後の進め方 等(専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も各部会と連携を図りながら、効果的に農作物のPRを進めていく。 	
その他	—	

農-4 収穫祭等における黒川産農産物のPR

■ 計画概要

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に実施する明治大学収穫祭において、地元農業者による農産物の直売会を実施し、農産物のPRを行う。 <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川の農産物を身近に知ってもらうよう、地域イベントや大学連携による、知名度向上を図る。
実施体制、対象者等		<p>対象：市民 協力：明治大学黒川農場、地元農業者 担当：川崎市農地課</p>
実施内容	実施予定日	11月11日（土）明治大学黒川農場収穫祭
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	①明治大学黒川農場収穫祭と連携した、地元農産物の直売会の実施
	予算等	—
その他		—

■実施結果

実施概要	実施日時	令和元年 11 月 9 日 (土)
	実施場所	明治大学黒川農場
	参加者数	6 人 (地元農業者、農地課)
実施状況 (写真等)	<p>令和元年 11 月 9 日に開催された明治大学黒川農場収穫祭にて、地元農家による直売を通して、地元農産物のPRを行った。</p>    <p>■農産物の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キウイ、本ゆず、卵、サツマイモ、次郎柿、サトイモ、ニンジン、キュウリ、ミニトマト、小松菜、春菊、ダイコン、ネギ、シイタケ 	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は豚汁販売が隣のブースでなかったため、人が農家の直売ブースにあまり流れず、呼び込みに苦労した。 ・明大農場の収穫体験との調整があり、ある程度のバッティングは避けられた。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<p>今回で 6 回目の参加。今後も継続して参加することで、黒川産の新鮮な農産物を PR し、販売促進につなげる。</p>	
その他	<p>〔セレスモスの販売〕 ジャム (ブドウ、シシユズ、キウイフルーツ、ユズ、ナシ、ミカン、ブルーベリー)、禅寺丸柿ワイン</p>	